

平成25年度開設予定大学院等一覧

平成24年12月

1 大学院を設置するもの 2校

区分	大学院名	研究科名 専攻等名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	星槎大学大学院	教育学研究科 教育学専攻 (M) (通信教育課程)	30	神奈川県中郡大磯町	学校法人 国際学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・定年を超えた高年齢教員の後任の採用計画について示している一方で、補足として「星槎大学定年の取り扱いに関する規程」に基づき再雇用が更新できるとの記載もあることから、策定している教員組織編成の将来構想を着実に履行すること。 ・監事の居住地と法人本部及び各設置校が離れていることなどから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、より一層監査機能を充実すること。 ・既設校の今後の定員（編入学定員を含む）充足の在り方について検討すること。（星槎大学 通信制 共生科学部 共生科学科） ・関連会社との取引について、実勢価格や費用対効果を十分に検証した上で取引金額を決定すること。また、業務委託、物品購入等の契約に係る経理規程を整備するなど、より一層取引における公正性・透明性の確保に努めること。 	
"	山陽学園大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	6	岡山県岡山市	学校法人 山陽学園	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を教授研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。 ・学問分野から適切に研究領域を設定し、学生に対して履修要項や履修指導において明示すること。 ・演習科目の単位数を増加させたことに見合った教育内容が、実質的に行われるよう留意すること。 ・「母子看護学特論」を開設するのであれば、演習科目や特別研究までの体系的な教育課程を早期に整備するよう努めること。 ・専門看護師（CNS）コースについて、教育課程に必要な授業科目及び内容が含まれていることを再度検証するとともに、受験生等に対して認定審査中であることを明示し、誤解がないよう周知すること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。（山陽学園大学 総合人間学部 生活心理学科） 	
計	2 校	1 研究科 (M) 1 専攻 〔通信教育課程〕 1 研究科 (M) 1 専攻	6 30				

2 研究科を設置するもの 2校

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	安田女子大学大学院	家政学研究科 健康生活学専攻 (M)	3	広島県広島市	学校法人 安田学園	<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・家政学部生活デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。 (安田女子大学 薬学部 薬学科) 	
〃	四国大学大学院	看護学研究科 看護学専攻 (M)	8	徳島県徳島市	学校法人 四国大学	<ul style="list-style-type: none"> ・高度実践職業人の養成を掲げるのであれば、特論科目、演習科目、特別研究を通してどのように専門性や実践能力を涵養するのかを更に検討し、必要であれば教育課程を充実させること。 ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ・教員の補充を必要とされた10授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた10授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 ・既設の大学等の消費支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上に努めること。 ・既設校の今後の定員充足の在り方について検討すること。 四国大学 文学部 書道文化学科 経営情報学部 マテリアル情報学科 生活科学部 生活科学科 四国大学短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科、幼児教育保育科、音楽科 	平成25年4月名称変更予定 文学研究科 英語文化専攻→国際文化専攻
計	2 校	2 研究科 (M) 2 専攻	11				

3 専攻設置又は課程を変更するもの 5校

区分	大 学 院 名	研究科名 専攻等名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
公立	和歌山県立医科大学大学院	保健看護学研究科 保健看護学専攻 (D)	3	和歌山県和歌山市	公立大学法人 和歌山県立医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢期保健看護学特論」は領域の重要な授業科目であるため、看護系の専任教員の配置についても課題として検討すること。 ・生涯保健看護学領域については、1つの領域としての体系的や当該領域にある3つの分野の関係性が不明瞭であるため、学生が適切に理解できるよう整理すること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 	
私立	埼玉学園大学大学院	経営学研究科 経営学専攻 (D)	3	埼玉県川口市	学校法人 峯徳学園	<ul style="list-style-type: none"> ・金融分野科目について、シラバスの変更はされているが実質的な改善はされていない。例えば、信用リスク評価分野の科目構成に偏りがあることから、現代のファイナンス理論に基づく信用リスク評価の基礎となる科目を金融分野に配置し、体系的な教育課程となるように改めること。 ・「経営財務特講」及び「IRと企業情報特講」は、会計・税務分野に配置するよう改めること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 	
"	国士舘大学大学院	救急システム研究科 救急救命システム専攻 (D)	3	東京都多摩市	学校法人 国士舘	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療倫理特別研究」において、教授する内容に疫学研究倫理指針を含めること。 	
"	武蔵野大学大学院	政治経済学研究科 政治経済学専攻 (D)	3	東京都江東区	学校法人 武蔵野大学	<ul style="list-style-type: none"> ・博士候補資格試験については、試験の位置づけを明確にするとともに、試験内容に対応した教育が博士課程で実施されるよう、例えば演習科目において試験内容を含めるなど、適切に対応すること。また、演習科目のシラバスについては、学生に分かりやすいよう授業内容及び指導方法を具体的な記載に改めること。 ・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。 	

区分	大 学 院 名	研 究 科 名 専 攻 等 名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
〃	中部大学大学院	生命健康科学研究科 生命医科学専攻（D）	人 3	愛知県春日井市	学校法人 中部大学	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命医科学」という新規の学問領域を扱う構想であることから、設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を着実に履行すること。 ・生命医科学を構成する3領域（「基盤病態医科学」、「環境予防医科学」、「生命医用技術学」）の統合が着実になされるよう、教育課程、履修指導方法及び学修成果について不断の検証を行うこと。 ・演習科目について、領域や区分の枠を超えて学修できるよう履修指導等において配慮すること。 ・全ての講義科目がオムニバス方式で行われることについて、各教員の担当回数が1回から3回と細分化されていることから、責任体制の明確化（授業科目責任者、成績評価方法等）、担当教員間の連携強化等を図り、1つの授業科目としての体系性を維持し、教育効果があがるよう配慮すること。 ・工学部情報工学科、人文学部心理学科、生命健康科学部スポーツ保健医療学科の入学定員超過の是正に努めること。 	
計	5 校	5 研究科 （D） 5 専攻	15				